

堺・泉北臨海特別防災地区協議会事務局による平成29年度「消防防災技術研修」の実施

1. 日 時 平成29年10月11日（水）～13日（金） 9時00分～17時00分
2. 参加人員 堺・泉北臨海特別防災地区協議会会員事業所の自衛防災要員・46名
3. 概 要 この研修は堺・泉北臨海特別防災地区協議会（※）が会員事業所の自衛防災要員に対し、消防や防災に関する知識並びに技能の向上に関する講義を行い、事業所の災害防止に役立てることを目的に開催するものです。
この中で近畿圏臨海防災センターは、堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点の施設概要や当センターが担う災害支援活動について講義を行いました。

※堺・泉北臨海特別防災地区協議会とは石油コンビナート等災害防止法第22条に基づき、堺・泉北地区の埋立地に位置する臨海コンビナート45事業所で構成された組織で、「当該特別防災区域の災害の発生又は拡大の防止に関する自主基準の作成」「災害の発生又は拡大の防止に関する技術の共同研究」「当該特定事業所の職員に対する災害の発生又は拡大の防止に関する教育の共同実施」「共同防災訓練の実施」を行います。



支援施設棟会議室での講義

防衛省陸上幕僚監部による災害現地研究

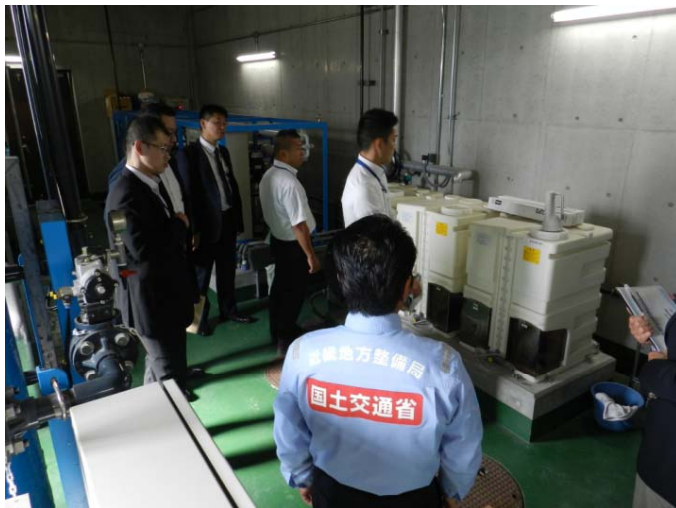
1. 日時 平成29年10月5日(木) 13時10分～14時00分
2. 概要 10月4日から6日にかけて防衛省陸上幕僚監部は、南海トラフ地震により甚大な被害が予想される和歌山県沿岸部の地形や南海トラフ地震災害対処時の活動基盤等の現状把握、大規模震災対処関連措置計画等の実効性向上のための情報収集活動（災害現地研究）を実施しました。
そのうち5日には、近畿圏臨海防災センターにおいて、「海上輸送拠点として使用する港湾施設の現地確認」として、堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点の施設概要などについて打合せを行いました。



支援施設棟会議室での説明



支援施設棟屋上から防災拠点を視察



支援支援棟の海水淡水化装置を見学



緑地を確認



外部倉庫棟で資機材を確認